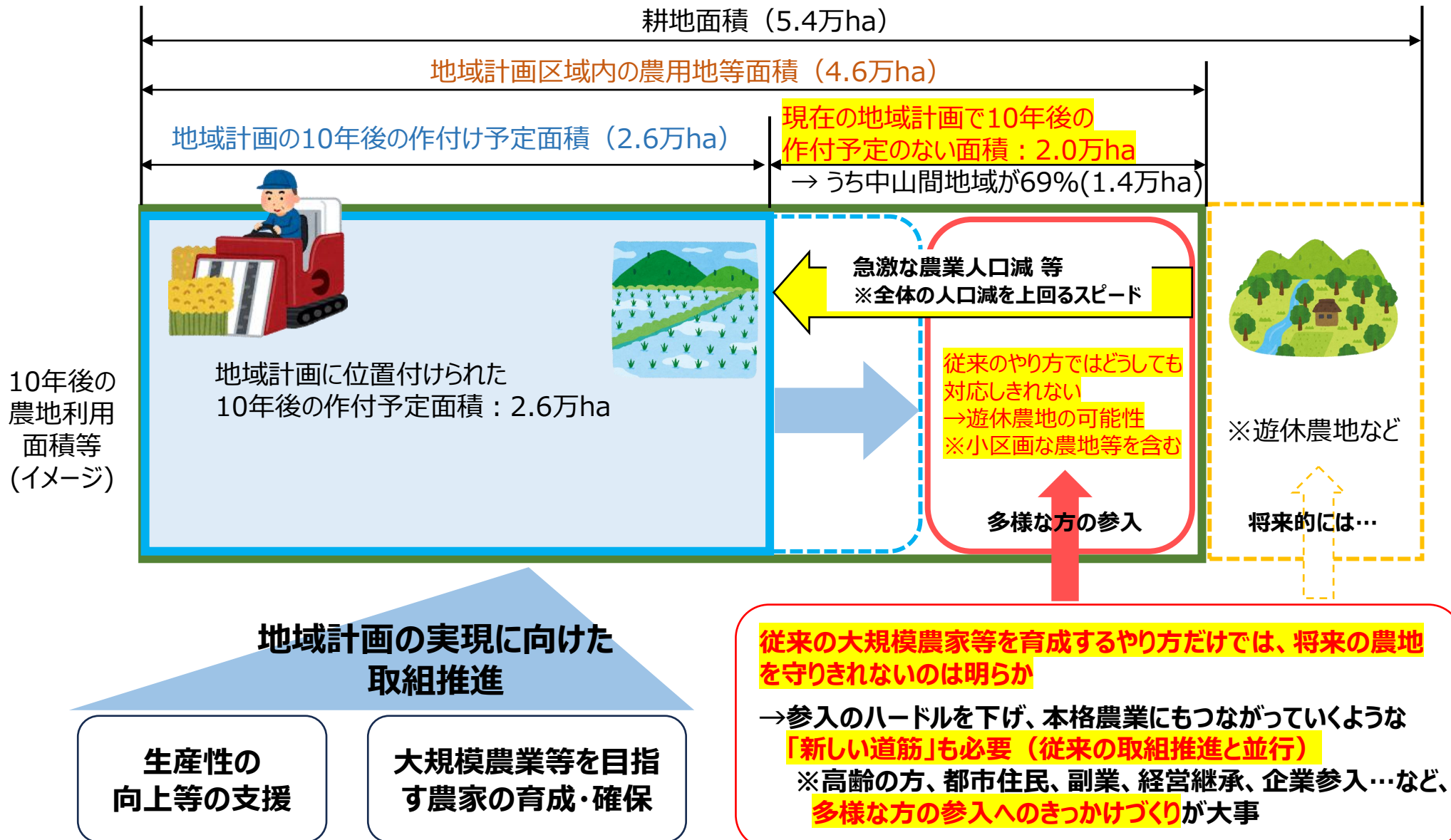
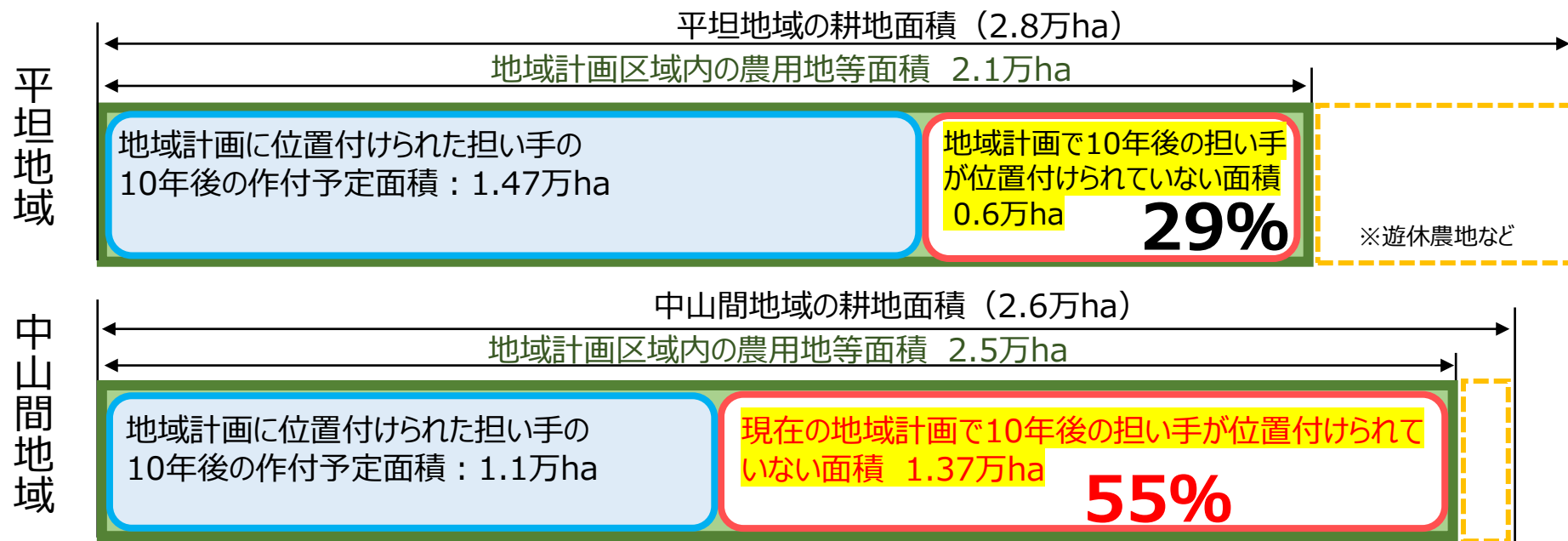


農地の十分な活用による食料自給率の向上（イメージ）

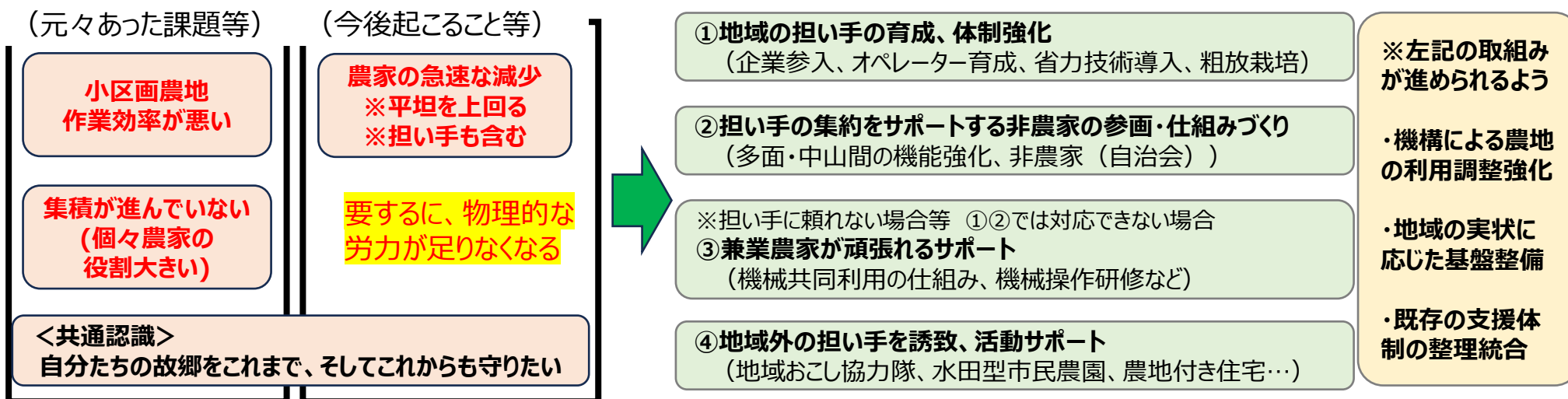


地域計画における10年後の耕作者未定の農地

平坦地域、中山間地域別



中山間地域では、従来とは異なる切り口により、踏み込んだ対策が必要（以下、課題等整理）



中山間地域の農業における今後の展開（イメージ）



条件のよいほ場は地域の農業者への集積・集約を進める

①地域の担い手の育成、体制強化

- ・農外企業の参入促進
- ・雇用労働者等増加に向けた、オペレーター育成
- ・省力技術の導入促進とそれに対応した基盤整備
- ・粗放栽培の推進

②担い手の集約をサポートする非農家の参画・仕組みづくり

- ・多面・中山間の機能強化
- ・非農家（自治会）が農地の維持をサポートする仕組みの構築



<支援策>

- ・参入障壁の緩和
- ・機構による農地の利用調整強化
- ・地域の実状に応じた基盤整備
- ・既存の支援体制の整理統合

小区画の農地については、多様な担い手の参画を推進する

③兼業農家が頑張れるサポート

- ・機械共同利用の仕組み
- ・機械操作研修など



④地域外の担い手を誘致、活動サポート

- ・地域おこし協力隊による地域外の担い手のサポート、
- ・水田型市民農園の設置
- ・農地（水田）付き住宅の整備

<課題>

- ・地域との協働が必要
- ・移住推進のため、まずは関係人口の創出が必要。



小区画農地は作業効率が悪く、地域の農業者には負担が大きい

